

## 28年度中学生の「税についての作文」 「税の標語」の表彰が行われました

全国納税貯蓄組合連合会が主催し、国税庁が後援する中学生の「税についての作文」と、東村山間税会が主催する中学生の「税の標語」の表彰が行われました。「税についての作文」には市内7中学校から795編の応募があり、12人が入賞し、西中学校に感謝状が授与されました。また、「税の標語」には市内7中学校から1547編の応募があり、11人が入賞しました。詳しくは納税課管理係 ☎470・7729へ。

各受賞作品は、2月6日(月)～8日(水)の期間、市役所1階屋内ひろばに展示します。入賞者は次の通りです(敬称略)。  
**税についての作文**  
▼東久留米市長賞 後藤樹(南中学校3年) ▼東久留米市教育委員会教育長賞 中山沙貴(西中学校3年) ▼東久留米市租税教育推進協議会会長賞 森島裕斗(東中学校3年) ▼東村山

事務所長賞 平藤まなや(久留米中学校3年) ▼多摩武蔵納税貯蓄組合連合会優秀賞 白戸穂乃花(南中学校3年)、新井賢人(大門中学校3年)、松山廉太郎(下里中学校3年)、渡邊翔太(中央中学校3年) ▼一般社団法人東村山青色申告会会長賞 久能梨沙(西中学校3年) ▼公益社団法人東村山法人会会長賞 小竹明子(中央中学校3年) ▼東京税理士会東村山支部支部長賞 相川かすみ(久留米中学校3年) ▼多摩武蔵納税貯蓄組合連合会会長感謝状 西中学校



「税についての作文」で表彰された皆さん



「税の標語」で表彰された皆さん

「納税は 社会のための 助け合い」  
東久留米市長賞 中村優月  
東中学校3年 中村優月

▼東村山税務署長賞 堀尾慎一郎(中央中学校3年) ▼東久留米市商工会会長賞 飯伏亜優美(久留米中学校3年) ▼東村山間税会会長賞 石川桃香(久留米中学校3年) ▼全国間税会総連合会入選 大塚太郎(西中学校3年) ▼東京国税局間税会連合会入選 尾崎日向姫(南中学校3年) 秦彪吾(下里中学校3年) ▼一般社団法人東村山青色申告会会長賞 弓削瑛莉香(中央中学校3年) ▼公益社団法人東村山法人会会長賞 佐藤真弥(大門中学校2年) ▼東京税理士会東村山支部支部長賞 野瀬文也(大門中学校2年)

**家庭ごみ有料化関連**  
**戸別収集容器の配布は3月末まで**  
戸別収集への移行に伴い、昨年9月から戸建て住宅にお住まいで希望する世帯に、戸別収集容器(ポリプロピレン製で内容量約40ℓのごみ箱)を配布しています。現在ごみ対策課で行っている配布は、3月31日(金)に終了します。希望する世帯の方はお早めに申請してください。ただし、すでに同容器を配布済みの世帯は除きます。  
【受付時間】3月31日(金)までの平日午前8時半～午後5時15分  
【会場】ごみ対策課(八幡町2ノ10ノ10)  
【対象】市内に住民登録があり、戸建て住宅またはメゾネットの共同住宅(条件あり)に居住の世帯  
【配布個数】1世帯に1個  
詳しくは同課 ☎473・2117へ。

《東久留米市長賞》  
南中学校3年 後藤樹  
僕は税金について消費税が八パーセント上がった頃に初めて考えることがありました。その頃僕にとって知っていた税の種類は一番身近に感じた消費税だけだったと思います。今改めて調べてみるとたくさんの種類の税があって、大人が時と場合に応じて多種の税を使い分けていると知ってとても驚きました。そんな税について考えるきっかけとなった増税が来年度からまた行われると知って正直嫌だなと思っていました。なぜなら、物の値段は上がるのに、自分達のお小遣いは上がらないからです。しかし、今回いただいた冊子やファイルを見て考え

は変わりました。僕は消費税が八パーセントから十パーセント上がるのを嫌だと思つていただけ世界を見てみると日本は他の国に比べればむしろ税率が低いくらいで、高い国にもなると二十五パーセント近くで衝撃を隠し切れませんでした。そんなに高いとはどのようなことなのか詳しくネットで調べてみると、社会保障がとても手厚いなど感じました。医療、教育などの無償化や治安の良さなど日本の目指すべき姿が見られました。とても高い税率なのに国別の幸せランキングを見てみると上位にかなりの国が位置しているに感動しました。税率が高いなりの保障があるからこそ国民が幸せだと感じるのだと思います。このようなことを知って日本の二パーセントの増税は仕方ないと思います。ただ、増税をするだけでは意味がありません。しっかりと社会に反映させる必要があります。僕達のような未成年者、そして働く世代などにもっと視点を向けてほしいです。今回の増税の二パーセント分を全て高齢者の方々の目的に使ってほしいはありません。今、日本は少子高齢化という深刻な問題に悩まされています。高齢者への年金の負担は働く世代にとつて重くなる一方です。このまま少子化が続くと、僕ら中学生が高齢者になる頃には推計で六十五歳以上一人に対して二十歳から六十四歳は一・二人以下という人口の比率となってしまうと思います。その負担を補うために、社会保障給付費として年金に多く使われています。僕はこのこと

**4月から**  
**男女平等推進センターが**  
**市役所2階に移転します**  
男女平等推進センター(フイティ・フイティ)は、市の男女共同参画推進の拠点として、13年間にわたり現在の場所(本町3ノ9ノ1ノ102)で運営してきましたが、4月から市役所本庁舎(本町3ノ3ノ1)2階へ移転します(ご利用は4月3日(月)からです)。  
現在、同センターで行っている「女性の悩みごと相談」、「女性弁護士による法律相談」、各種講座、図書貸し出しは、移転後も継続して行い

すべてのコーナーを利用できるようにする予定です。  
ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。また、ぜひ移転後も気軽にお立ち寄りください。  
詳しくは生活文化課 ☎470・7738へ。  
《今号の主な内容》  
東村山税務署からのお知らせ 2面  
高額医療介護負担軽減費の申請書を送付します 3面  
「ちよこつと共済」の休日加入受け付けを行います 5面  
市民ギャラリーに皆さんの作品を展示してみませんか 6面